

# ロシア・トルコ景気概況 (2023年1-3月)

2023年4月3日

調査部 副主任研究員 土田陽介



## ロシア景気概況① 景気は悪化している

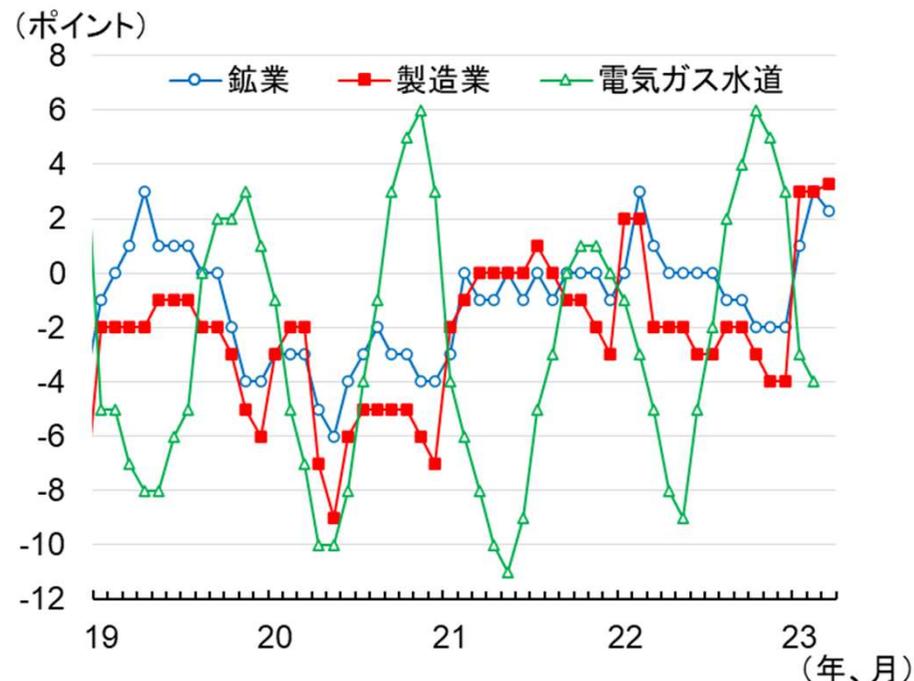
ロシアの2022年通年の実質GDP(速報値)は前年比▲2.1%と、2021年(▲4.7%)以来のマイナス成長となった。欧米を中心とする国際社会から科された経済・金融制裁が、ロシア経済を圧迫した。2023年1-3月期の企業の景況感は、鉱業と製造業で改善が進んだ。

### 実質GDP



(出所)ロスタット

### 企業景況感指数

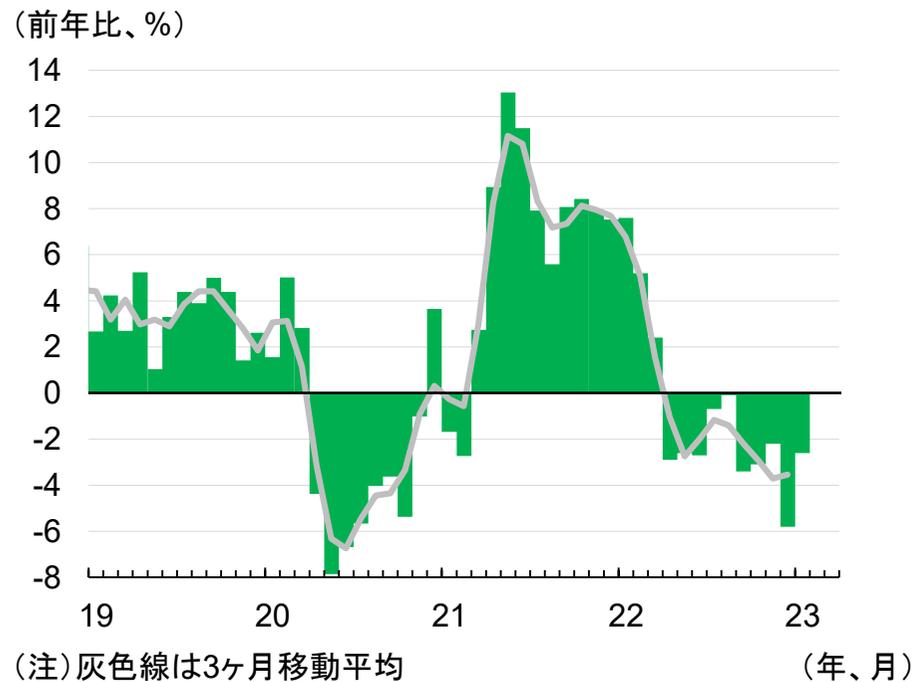


(出所)ロスタット

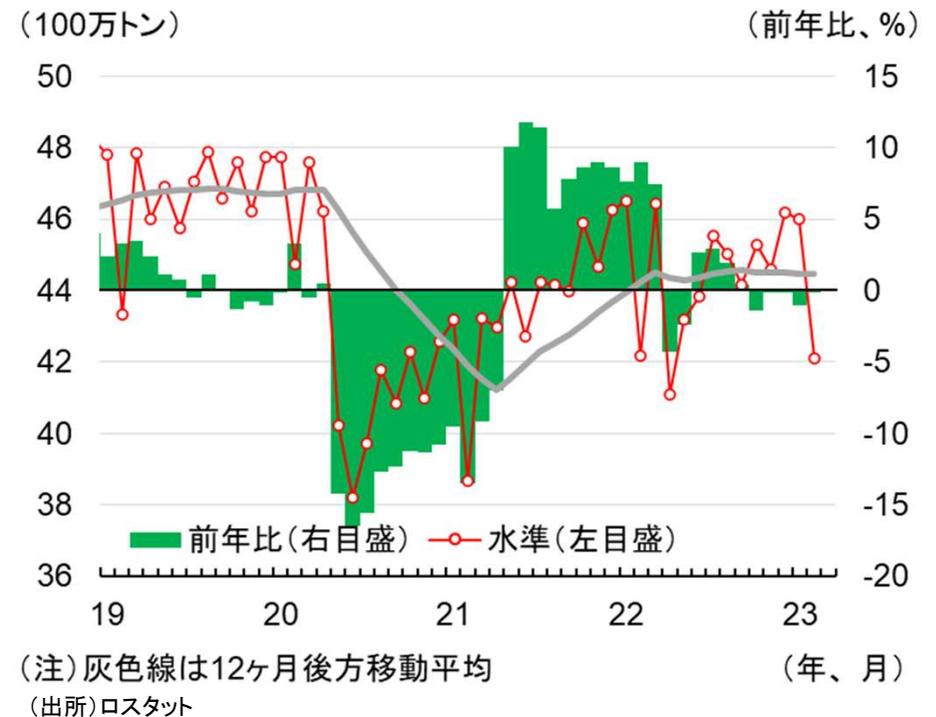
## ロシア景気概況② 生産は減少

ロシアの1月の鉱工業生産は前年比▲2.6%と前月(同▲5.8%)からマイナス幅が縮小したが、前年割れが続いた。鉱業が同▲3.1%と前月(同▲2.9%)よりマイナス幅が拡大した一方、製造業は同▲2.3%と前月(同▲8.1%)よりマイナス幅が縮小した。なお、ロシアは3月から日量50万バレルの自主減産を行う。

### 鉱工業生産



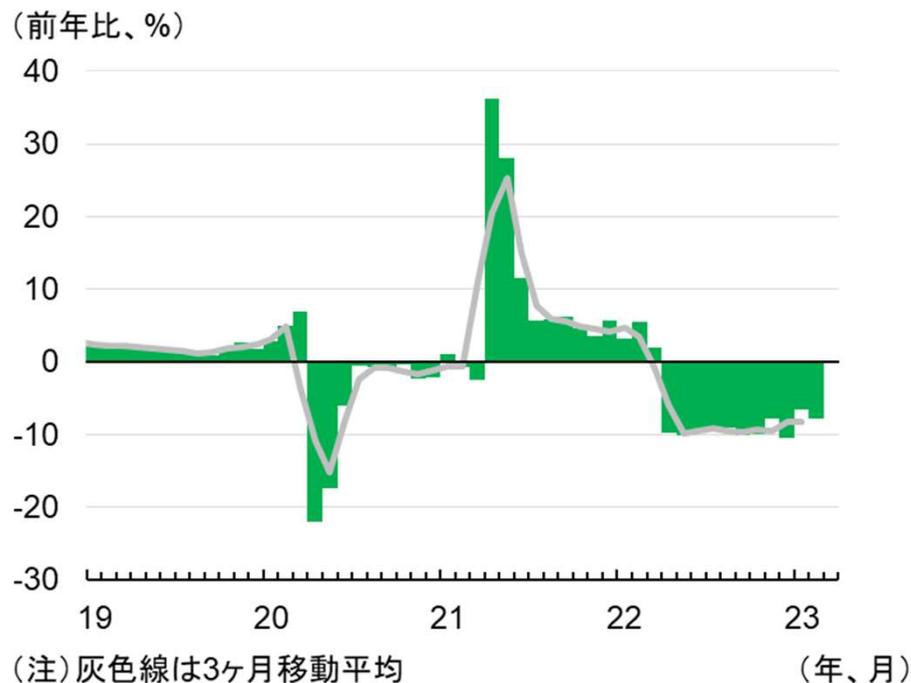
### 原油・超軽質油生産量



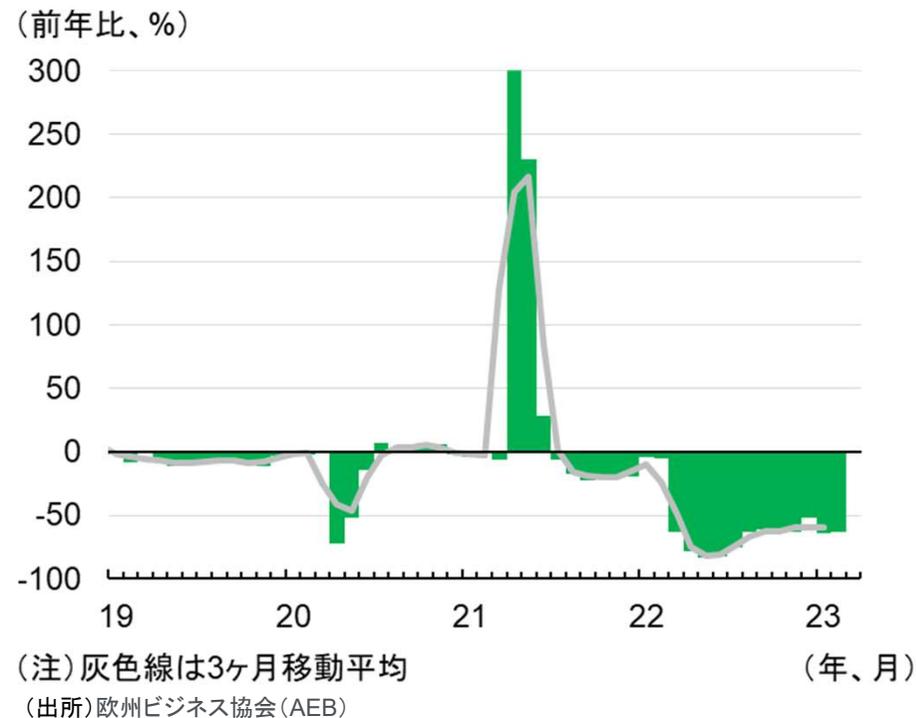
## ロシア景気概況③ 消費は悪化

ロシアの2月の小売売上高は前年比▲7.8%とマイナス幅が再び拡大、均した動きも同▲8%程度の減勢が定着。食品売上、非食品売上ともにマイナスが拡大した。また同月の新車販売台数は前年比▲63.4%と前月(同▲64.5%)からマイナス幅は変わらず、均した動きも前年比6割減が定着。

### 小売売上高



### 新車販売台数



## ロシア景気概況④ 雇用は改善

ロシアの2月の失業率は3.5%と2ヶ月連続で低下するなど、雇用の改善が継続。足元の雇用改善は、労働供給の構造的な減少(成年男子の徴兵及び国外脱出)を反映している公算が大きい。また賃金は、デysinフレの進展で実質ベースで前年比小幅プラスに転じた。

### 失業率と失業者数



(出所)ロスタット

### 賃金動向



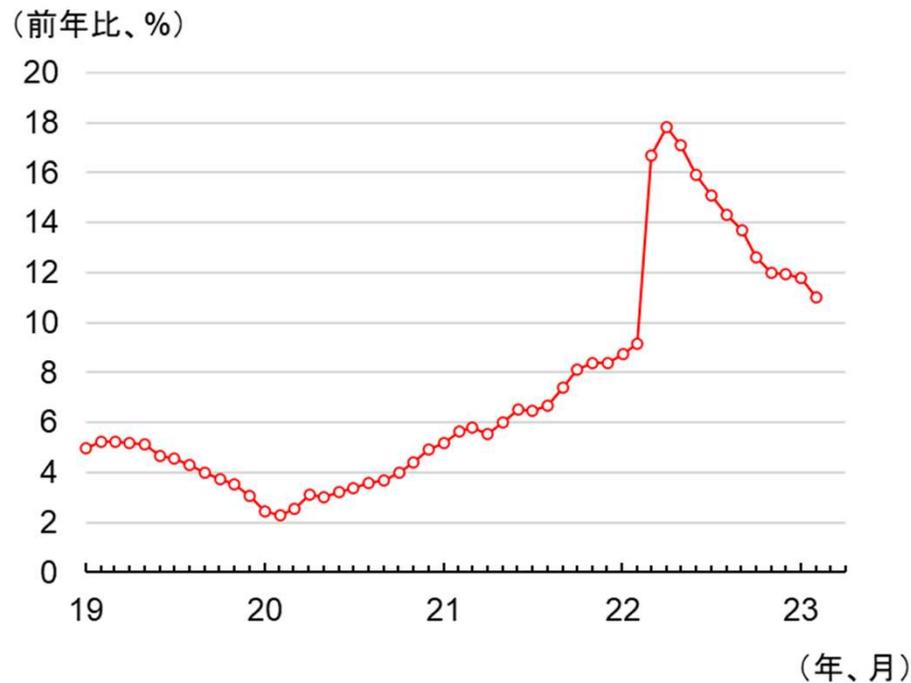
(注)3ヶ月移動平均

(出所)ロスタット

## ロシア景気概況⑤ インフレは緩やかに減速

ロシアの2月の消費者物価は前年比+11.0%と、デysinフレが進んだ。一方で、同月の生産者物価は同▲7.5%と、3ヶ月連続でマイナス幅を拡大させた。ロシア中銀は3月17日の会合で、家計と企業のインフレ期待が一時よりは和らいでいるものの、依然として強いままであるという認識を示した。

### 消費者物価



(出所)ロスタット

### 生産者物価



(出所)ロスタット

## ロシア景気概況⑥ ロシア中銀は金利を据え置き

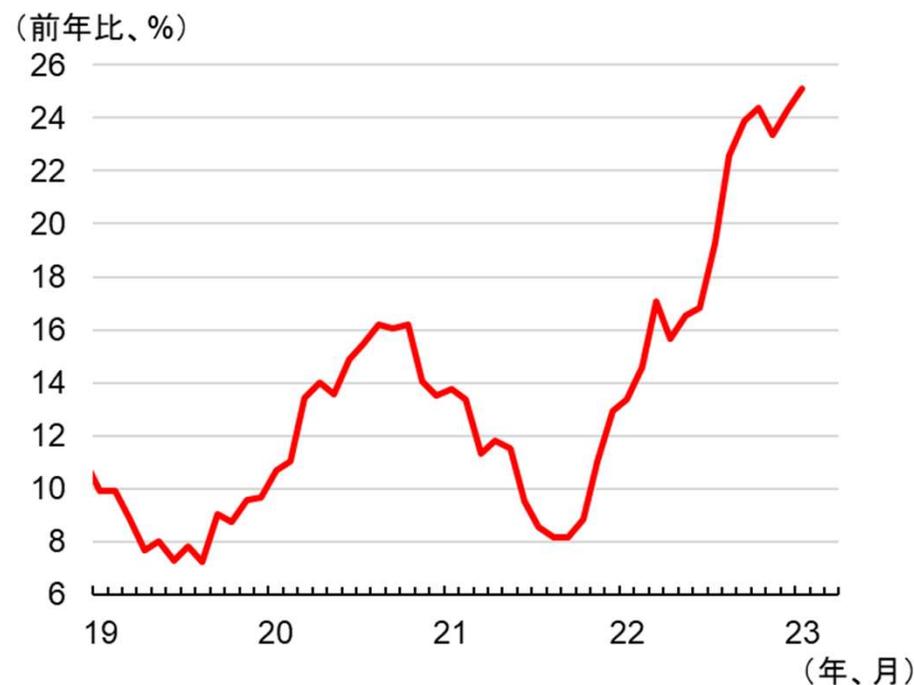
ロシア中銀は2022年9月以降、政策金利を7.5%で据え置いている。中銀は3月17日の会合でも、2023年のインフレ率が5-7%となり、2024年には4.0%と、従前からのインフレ目標に落ち着くという認識を保った。一方で貨幣供給量は増加ペースを加速させており、中銀が流動性を積極的に供給し企業の資金繰りを支えている様相がうかがえる。

### 政策金利と消費者物価



(出所)ロシア中銀、ロスタット

### 貨幣供給量(M2)



(出所)ロシア中銀

## ロシア景気概況⑦ 金利は上昇、株価は横ばい

ロシアの1-3月期の長期金利は上昇。世界的に長期金利の上昇圧力がくすぶっていることに加えて、ロシア政府が国債の発行を増やしていることが金利の上昇圧力になった模様。一方で、ロシアの1-3月期の株価は横ばい。国民福祉基金などが株を買い支えている模様。

### 10年国債流通利回り



(出所)ロシア財務省

### 株価(RTS指数)



(出所)モスクワ取引所

## ロシア景気概況⑧ 通貨は対ドル、対円で下落

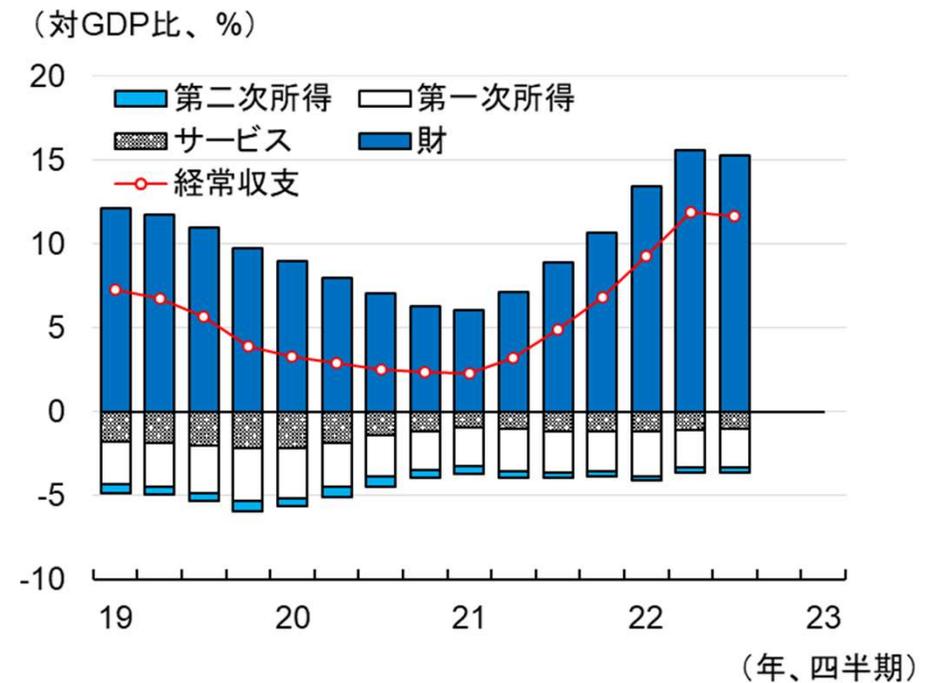
1-3月期のルーブル相場は対ドル、対円で下落した。ロシア中銀は金利を引き下げていることに加えて、原油価格の下落で政府の石油・ガス収入が減少したことなどが、ルーブル相場下落につながった模様。経常収支は歴史的なプラス幅を維持しているが、主因は財輸入の減少で財収支黒字が拡大したことにある。

### ルーブル相場



(出所)ロシア中銀

### 国際収支

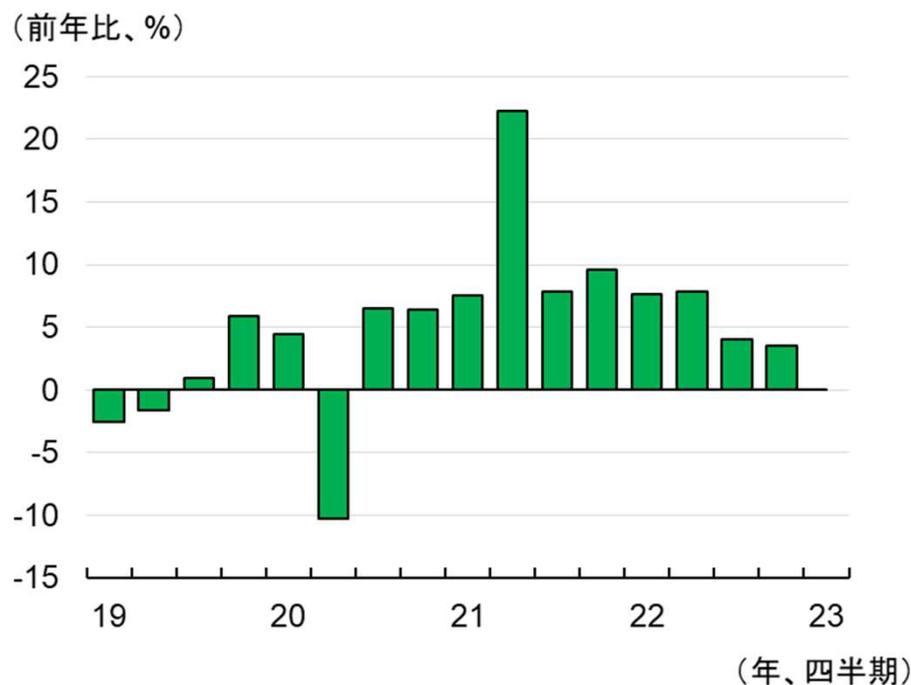


(出所)ロシア中銀

## トルコ景気概況① 景気は減速している

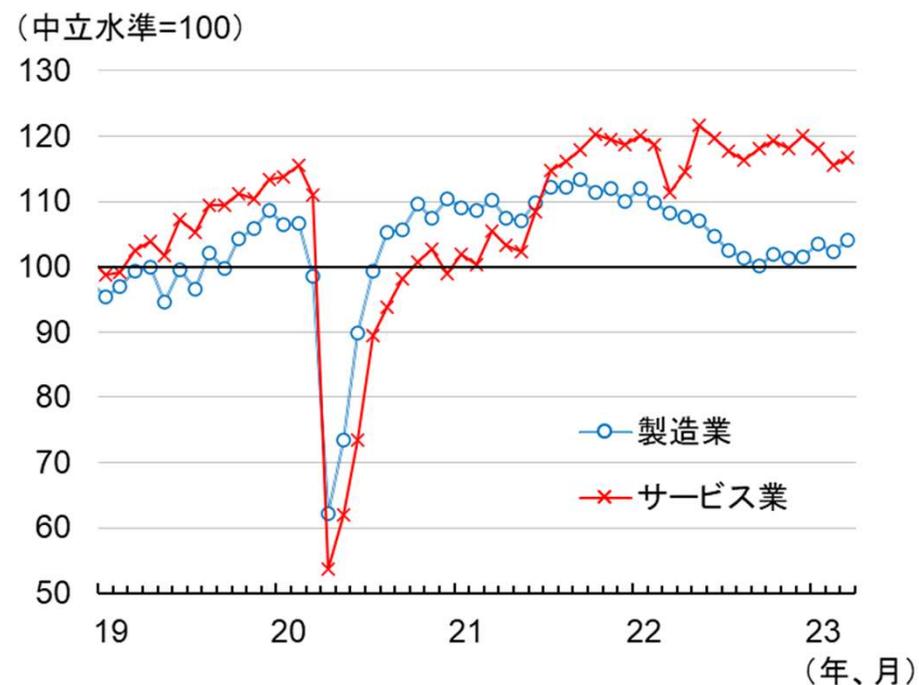
トルコの2022年10-12月期の実質GDPは前年比+3.5%と、2四半期連続で増勢が鈍化した。同年通年の成長率は5.6%と前年(11.4%)を下回ったが、政府目標(5%)を上回った。年明け2023年1-3月期の企業景況感は、製造業・サービス業ともに中立水準を上回ったが、2月に起きたトルコ・シリア大地震が企業のマインドを下押しした模様。

### 実質GDP



(出所)トルコ統計局

### 企業景況感指数

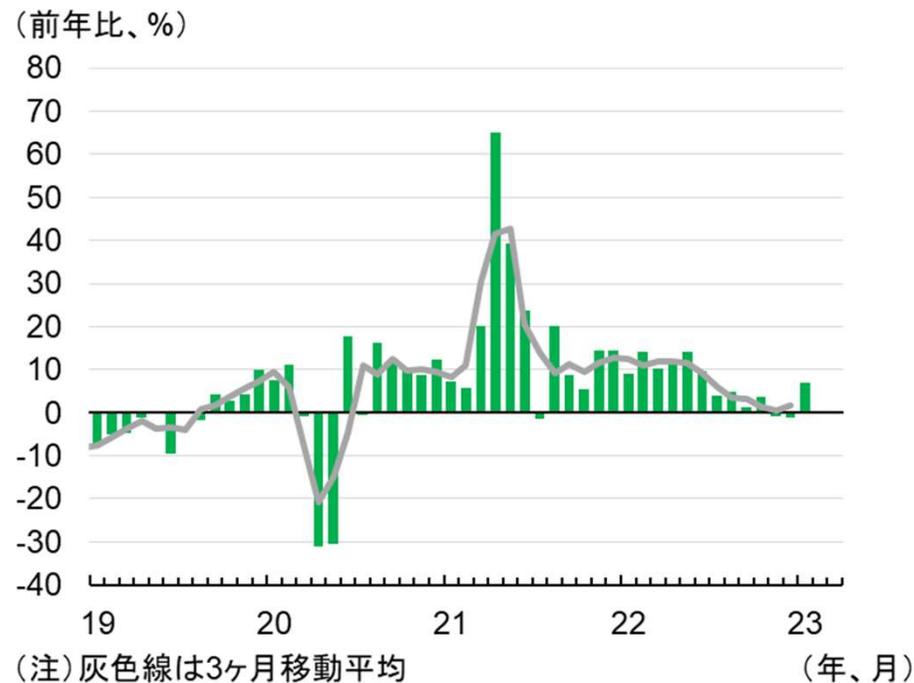


(出所)トルコ中央銀行、トルコ統計局

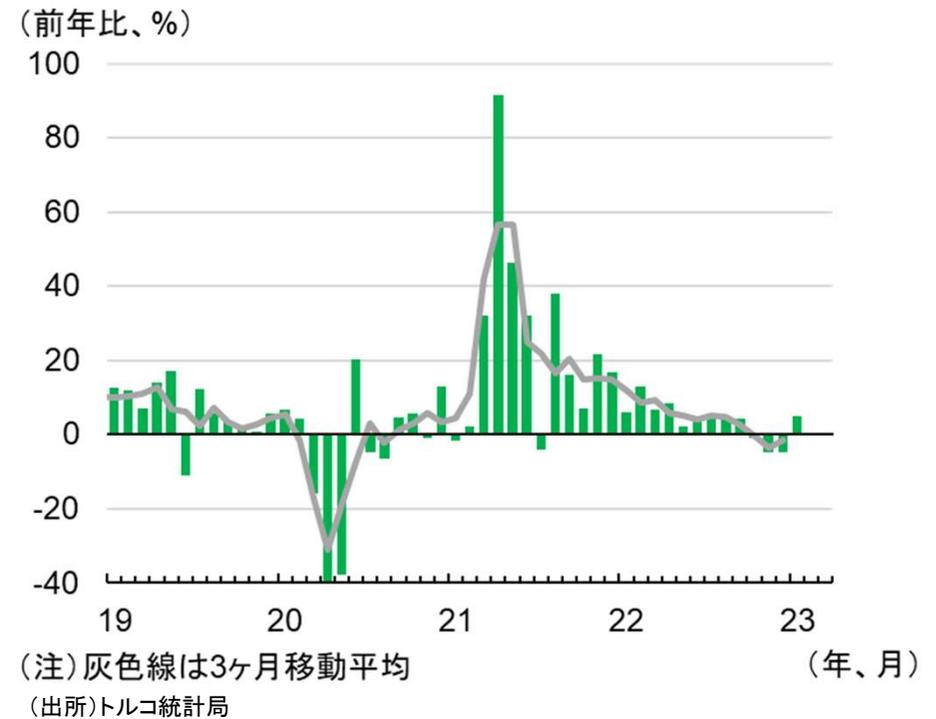
## トルコ景気概況② 生産は増加

トルコの1月の鉱工業生産は前年比+7.0%と3ヶ月ぶりに前年水準を上回り、均した動きも上向き。一方で、同月の実質輸出も同+5.0%と3ヶ月ぶりに前年水準を上回り、均した動きも前年比横ばいとなった。

### 鉱工業生産



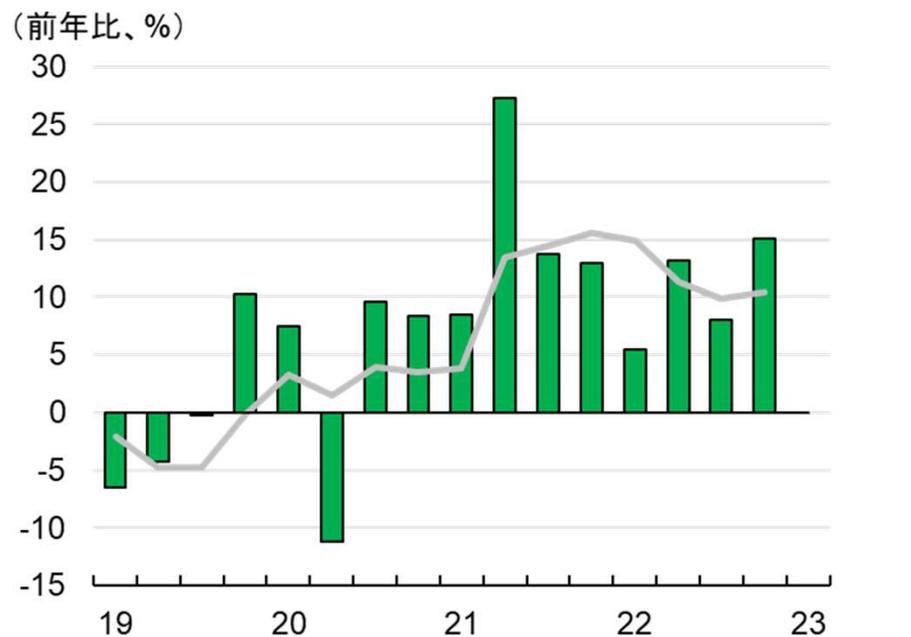
### 実質輸出



## トルコ景気概況③ 消費は増加

トルコの2022年10-12月期の小売数量は前年比+15.1%と増勢が再び加速し、均した動きは横ばい。また同期の新車販売台数は同+45.5%と、前期(同+2.4%)から増勢が加速した。半導体に代表される供給制約の緩和などを受けた動きと考えられる。

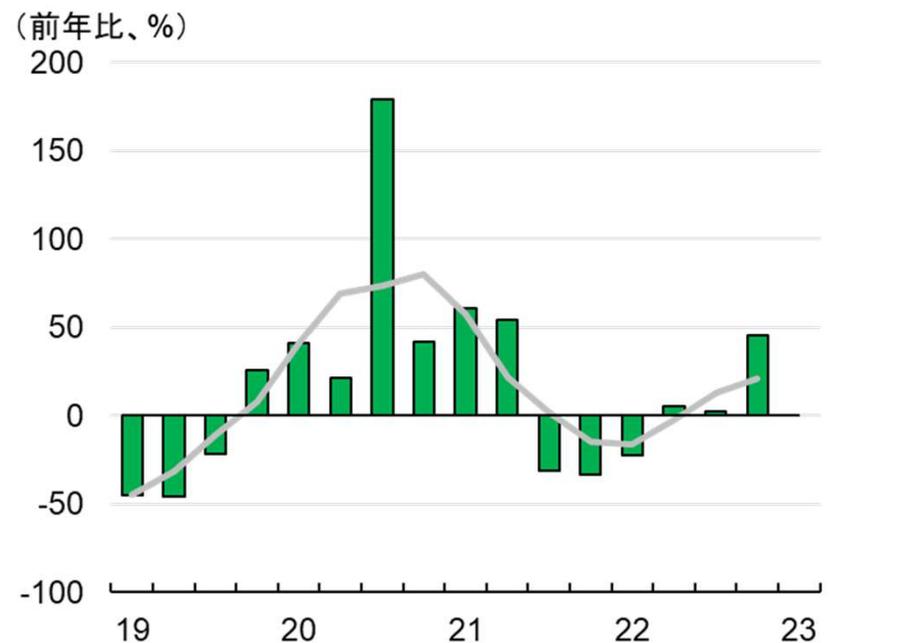
### 小売数量



(注) 灰色線は4四半期移動平均

(出所)トルコ統計局

### 新車販売台数(乗用車)



(注) 灰色線は4四半期移動平均

(出所)トルコ自動車工業会

## トルコ景気概況④ 雇用は改善が一服

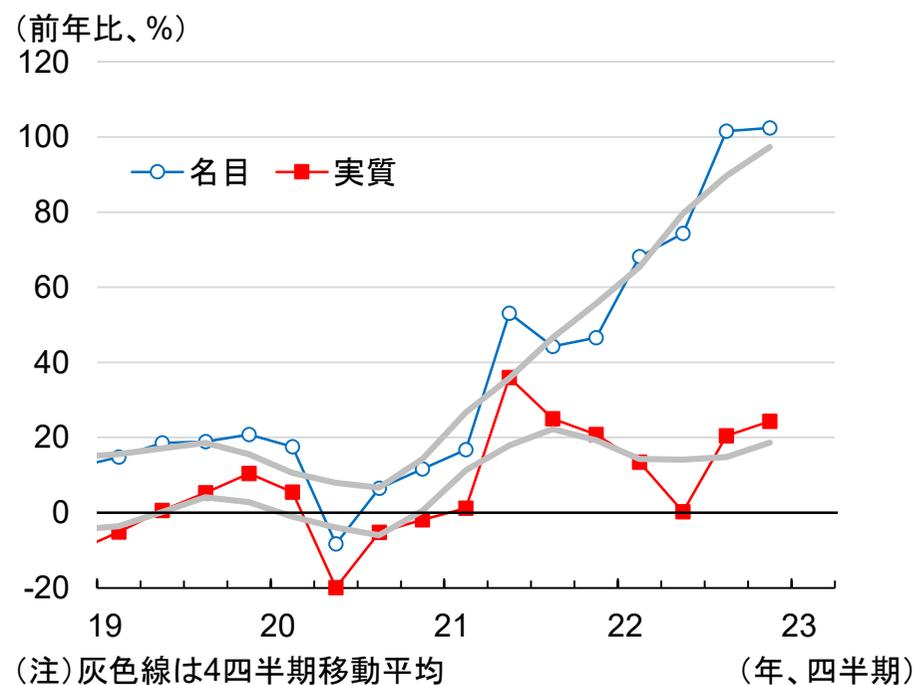
トルコの2023年1月の失業率は9.7%と前月(10.2%)から低下したが、横ばい圏で推移。一方で、2022年10-12月期の賃金・給与指数は、名目ベースでは最低賃金引上げ(+50%)の影響から増勢の加速が続き、実質ベースでも均せば20%近い増加テンポを維持した。

### 失業率



(出所)トルコ統計局

### 賃金・給与指数

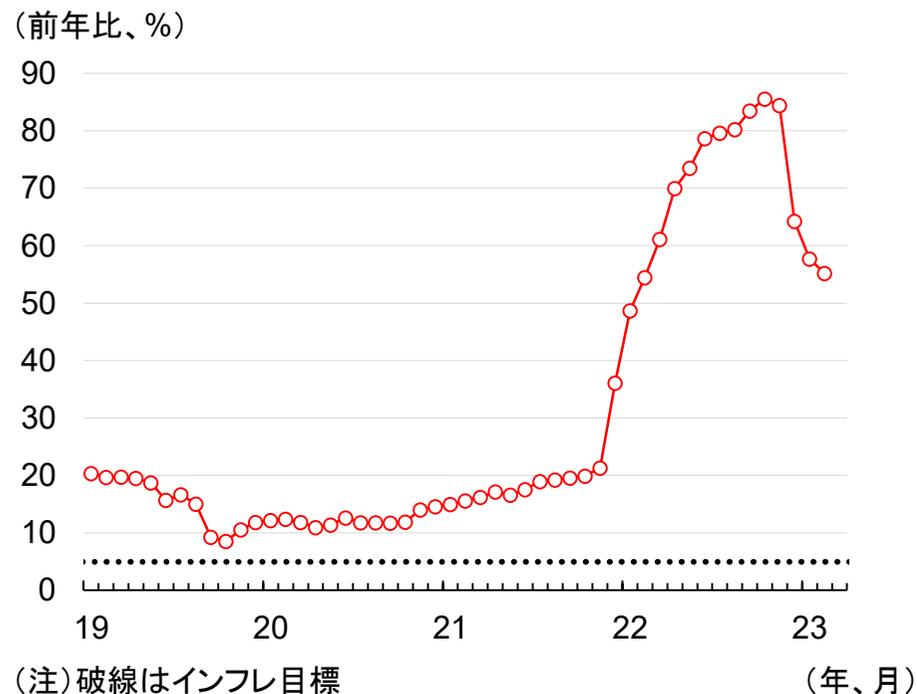


(出所)トルコ統計局

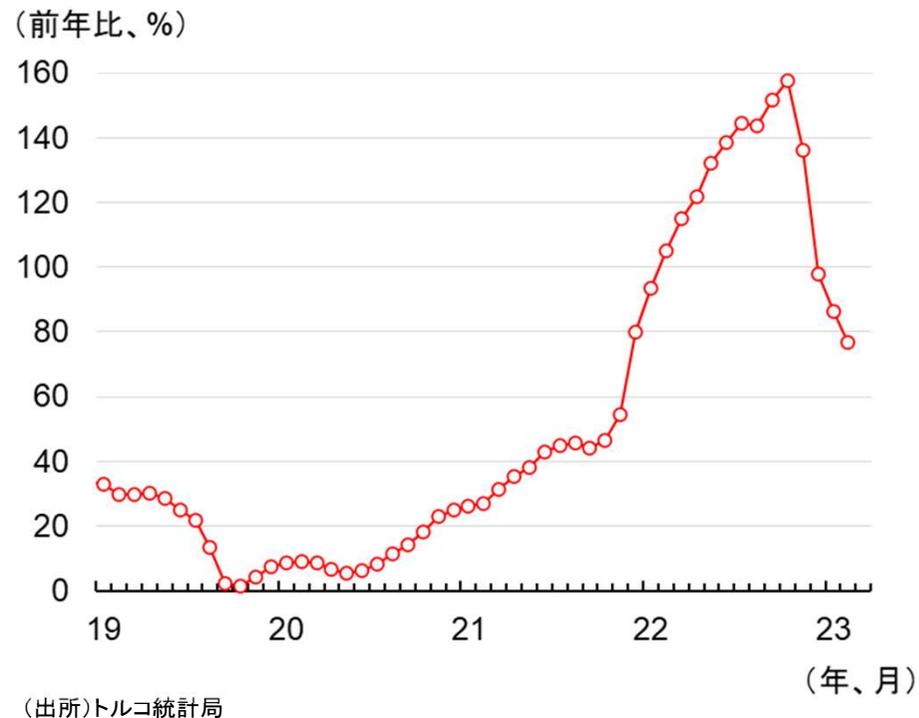
## トルコ景気概況⑤ 物価はインフレが鈍化

トルコの2月の消費者物価は前年比+55.2%と4ヶ月連続で上昇が鈍化した。また同月の生産者物価も同+76.6%と伸びの鈍化が続いた。しかし消費者物価、生産者物価ともにデスインフレが徐々に減速しており、物価上昇圧力は依然として強い。

### 消費者物価



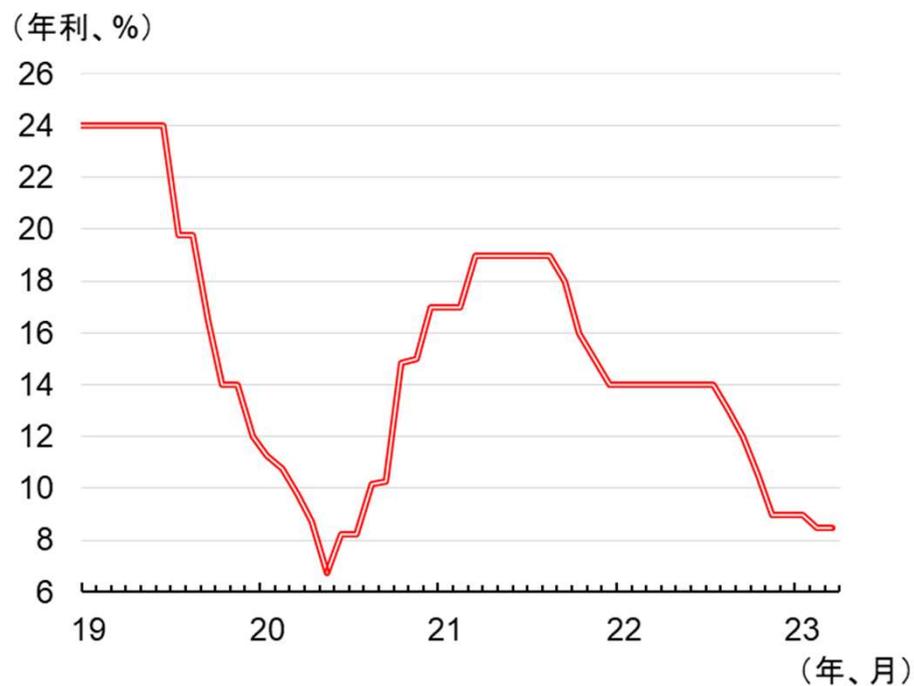
### 生産者物価



## トルコ景気概況⑥ トルコ中銀は2月に緊急利下げを実施

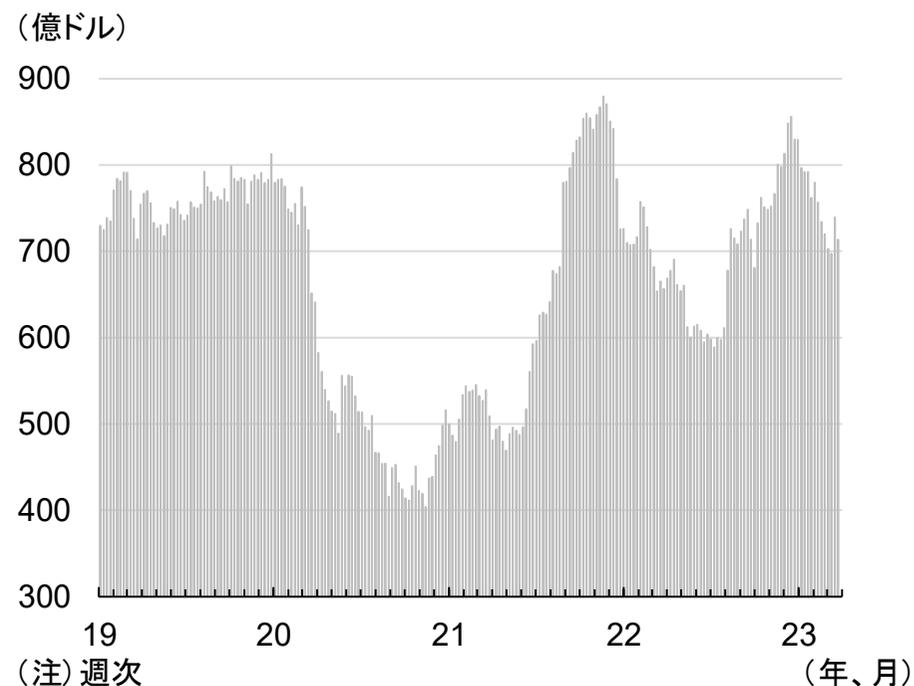
トルコ中央銀行は2022年11月の会合で緩和サイクルの終了を明言したが、2023年2月6日にトルコ・シリア大地震が発生したことで、政策金利を急遽0.5%ポイント引き下げ、年8.5%にした。3月23日の会合で中銀は、少なくとも年前半は大地震が経済に与える影響を注視する必要があるという見方を示した。

### 政策金利(一週間レポ金利)



(出所)トルコ中央銀行

### 外貨準備高(除く金)



(注)週次

(出所)トルコ中央銀行

## トルコ景気概況⑦ 金利は上昇、株価は横ばい

トルコの1-3月期の長期金利は上昇した。トルコ政府は2022年6月以降、銀行に低利債の購入を義務付け、金利の低下につながったが、そのトレンドも一服したと考えられる。一方で、トルコの株価は横ばい。2月のトルコ・シリア大地震に加えて、3月に顕在化した欧米金融不安が株価の上値を抑えた模様。

### 10年国債流通利回り



(出所)トルコ中央銀行

### 株価(イスタンブール100指数)

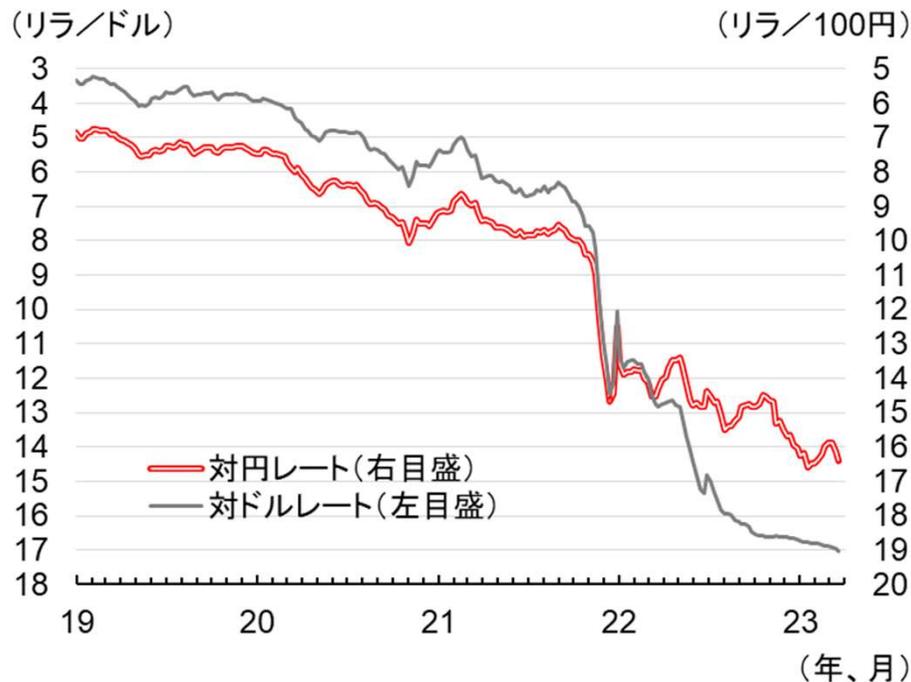


(出所)イスタンブール証券取引所

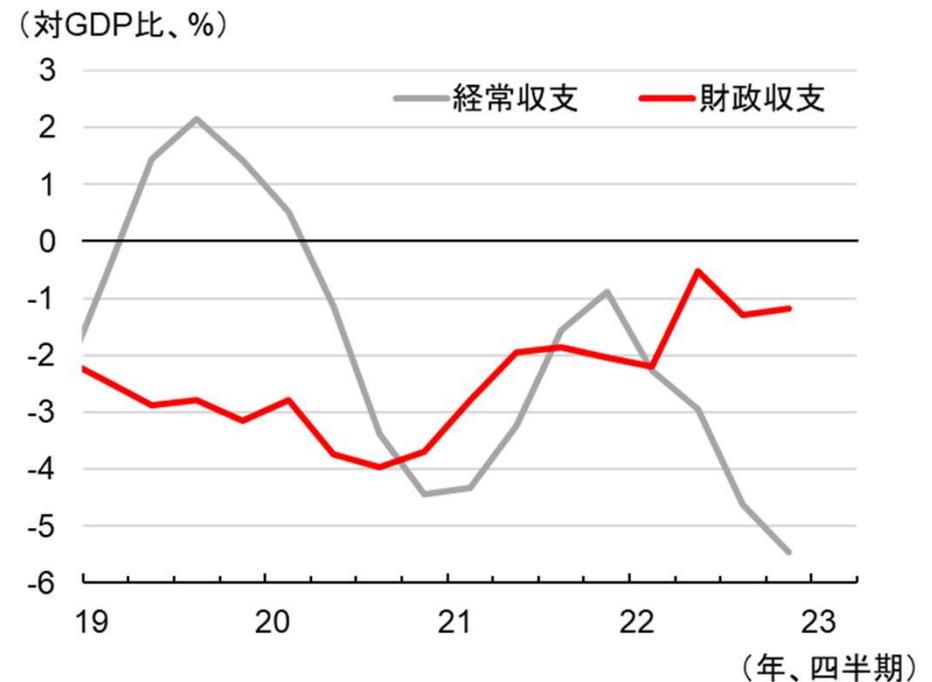
## トルコ景気概況⑧ 通貨は対ドルで下落、対円で横ばい

1-3月期のリラ相場は対ドルで下落、対円で横ばい。対ドルでは、世界的なドル高の流れが一服したことを受けて、リラ安のピッチが鈍化した。一方、対円では、円高の一服もあって横ばいとなった。経常収支は赤字幅が膨らんでおり、実需面からリラを買い支える圧力は弱まっている。

### トルコリラ相場



### 経常収支と財政収支



ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ) 調査部 土田陽介 TEL: 03-6733-1628 E-mail: [chosa-report@murc.jp](mailto:chosa-report@murc.jp)

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

— ご利用に際して —

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。当社までご連絡ください